

# いつでもお問い合わせください

製品を登録してサポートをご利用ください:

[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

BM90

ご質問はフィ  
リップスへ



## ユーザーマニュアル

# PHILIPS



# 目次

<b>1 重要</b>	2	<b>8 トラブルシューティング</b>	22
安全上の注意	2		
<b>2 サウンドタワーシステム</b>	3	<b>9 通知</b>	24
はじめに	3	適合宣言	24
パッケージの内容	3	書面によるオファー	25
本体の概要	4		
リモコンの概要	5		
<b>3 はじめに</b>	7		
FM アンテナの接続	7		
電源の接続	7		
リモコンの準備	7		
時計の設定	8		
電源をオンにする	8		
<b>4 再生</b>	9		
シングルモードでの再生	9		
外部デバイスからの再生	13		
グループモードでの再生	13		
<b>5 サウンドの調整</b>	17		
音量の調節	17		
プリセットされたサウンド効果の選択	17		
バス拡張	17		
より広いスポットでの音楽の再生	17		
音声のミュート	17		
<b>6 その他の機能</b>	18		
アラームタイマーの設定	18		
スリープタイマーの設定	18		
ファームウェアの更新	18		
<b>7 製品情報</b>	20		
サポートされている MP3 ディスク形式	20		
RDS プログラムの種類	20		

# 1 重要

## 安全上の注意

- 通気のため、製品の周囲に十分な空間を確保してください。
- 製造元によって指定されている付属品またはアクセサリ以外は使用しないでください。
- バッテリー使用上の注意：怪我、物品の損傷、製品の破損を招くバッテリーの液漏れを防止するために、次の点に注意してください。
  - バッテリーを正しく装着してください（製品に占めせれているとおりに＋／－を装着してください）。
  - 製品を長期間にわたって使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
  - バッテリーを直射日光や炎などの過度の熱にさらさないでください。
- 製品に水滴がかかったり水跳ねしたりしないようにしてください。
- 危険性のある物体（液体の入った物、火が点いたキャンドルなど）を製品の上に置かないでください。
- 電源プラグまたは電源接続器を断路装置として使用している場合、断路装置はすぐに動作可能な状態にしておいてください。



### 警告

- 本機器のケースは絶対に取り外さないでください。
- 機器のどの部分にも絶対に潤滑剤を塗らないでください。
- 機器は他の電子機器の上に絶対に置かないでください。
- 機器は直射日光、裸火、熱から離して置いてください。
- 機器内部のレーザー光は絶対に覗き込まないでください。
- 機器を電源から切断するために、電源コード、プラグ、アダプターに手が届きやすいようにしておいてください。

## 2 サウンドタワーシステム

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。当社が提供するサポートを最大限にご利用いただくには、製品を [www.philips.com/welcome](http://www.philips.com/welcome) でご登録ください。

### はじめに

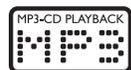
この機器を使用して、次のこと  
をお楽しみいただけます。

- ディスク、Bluetooth 対応デバイス、USB ストレージデバイス、または他の外部デバイスのオーディオを再生する
- izzylink 対応マルチルームスピーカー（本製品には付属していません）を使用して、家中どこでも音楽を聴く
- FM ラジオ局の放送を聴く

以下のサウンド効果でサウンド出力を豊かに  
することができます。

- ダイナミックバスブースト (DBB)
- デジタルサウンドコントロール (DSC)
- Living Sound

この機器では、次のメディア形式  
がサポートされています。

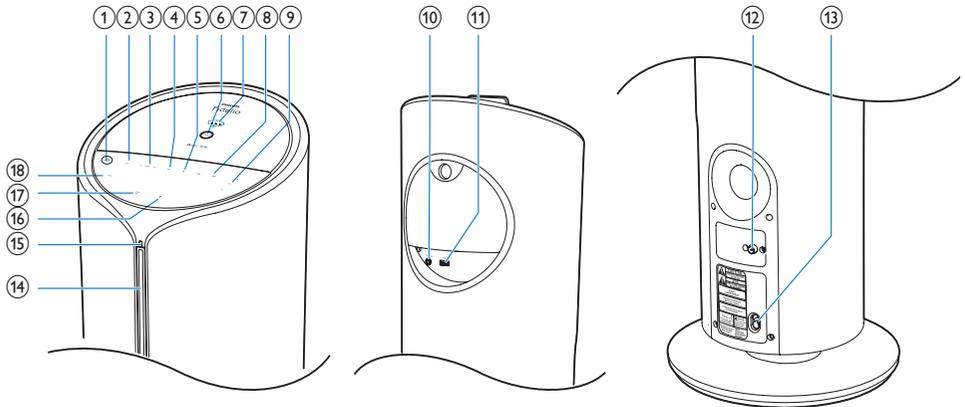


### パッケージの内容

パッケージに以下の物が含まれていることを確認してください。

- 製品本体
- FM ワイヤアンテナ 1 本
- 3.5mm オーディオケーブル 1 本
- リモコン (単四電池 2 本付属)
- ドキュメント

## 本体の概要



- ① **⏻**
  - ユニットのオン/オフを切り替える。
  - スタンバイモードまたはエコモードに切り替える。
- ② **SRC**
  - 音源 (DISC (ディスク)、FM、TUNER (チューナー)、USB、AUDIO IN (オーディオ入力)、BT (Bluetooth)) を選択する。
- ③ **PRESET +/-**
  - チューナー音源でタップして、プリセットされたラジオ局を選択する。
  - ディスク/USB 音源でタップして、前/次のアルバムにスキップする。
- ④ **▶▶**
  - 再生を開始、一時停止、再開する。
- ⑤ **■**
  - 再生を停止する。
- ⑥ **GROUP ボタン/インジケータ**
  - 押し続けて、他の izzylink 対応マルチルームスピーカーをグループに追加する。
- シングルモードとグループモードを切り替える。
- グループの構成中は緑で点滅する。
- グループが正常に作成されると、白で点灯する (マスタースピーカーの場合)。
- グループが正常に作成されると、緑で点灯する (スレーブスピーカーの場合)。
- ユニットがスレーブとして動作し、マスターを探しているときは緑で点滅する。
- ⑦ **信号強度インジケータ**
  - グループ接続の信号強度を示す。
- ⑧ **◀◀/▶▶**
  - 前または次のタイトル、チャプター、トラック、ファイルにスキップする。
  - トラック/ディスク内で検索する。
  - ラジオ局にチューニングする。
  - 時間を調整する。
- ⑨ **VOL +/-**
  - 音量を調節する。

## ⑩ AUDIO IN

- 外部オーディオデバイス用のオーディオ入力ソケット (3.5mm)。

## ⑪

- USB ソケット。

## ⑫ FM アンテナ

- FM アンテナソケット。

## ⑬ AC 電源

- 電源ソケット。

## ⑭ ディスクコンパートメント

## ⑮ LED インジケータ (RC および BT 表示)

## ⑯ ▲

- ディスクを取り出す。

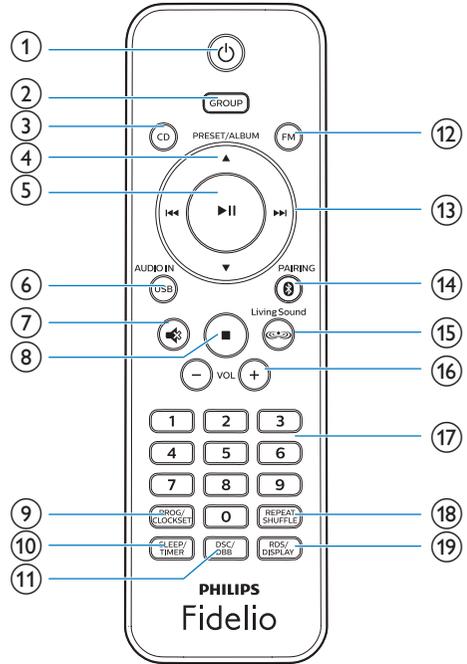
## ⑰ SUB VOL

- サブウーファアの音量を調節する。

## ⑱ PROG

- ディスク/USB 音源で再生を停止してから、タップしたままにしてトラックをプログラムする。
- チューナー音源でタップしたままにして、ラジオ局をプログラムする。
- スタンバイモードでタップしたままにして、時計を設定する。

## リモコンの概要



## ① 〽

- ユニットのオン/オフを切り替える。
- スタンバイモードまたはエコモードに切り替える。

## ② GROUP

- 押し続けて、他の izzylink 対応マルチルームスピーカーをグループに追加する。
- シングルモードとグループモードを切り替える。

- ③ CD
  - CD 音源を選択する。
- ④ ALBUM/PRESET ▲/▼
  - プリセットされたラジオ局を選択する。
  - 前または次のアルバムにスキップする。
- ⑤ ▶||
  - 再生／一時停止する。
- ⑥ AUDIO IN/USB
  - AUDIO IN (オーディオ入力) または USB 音源を選択する。
- ⑦ 🔇
  - ミュートのオン／オフを切り替える。
- ⑧ ■
  - 再生を停止する。
- ⑨ PROG/CLOCK SET
  - ディスク／USB 音源で再生を停止してから、タップしたままにしてトラックをプログラムする。
  - チューナー音源でタップしたままにして、ラジオ局をプログラムする。
  - スタンバイモードでタップしたままにして、時計を設定する。
- ⑩ SLEEP/TIMER
  - スリープタイマーを設定する。
  - アラームタイマーを設定する。
- ⑪ DSC/DBB
  - 繰り返し押し、プリセットされたサウンド効果を選択する。
  - 押し続けて、ダイナミックバスブースト (DBB) のオン／オフを切り替える。
- ⑫ FM
  - FM 音源を選択する。
- ⑬ ◀▶
  - 前または次のタイトル、チャプター、トラック、ファイルにスキップする。
  - トラック／ディスク内で検索する。
  - ラジオ局にチューニングする。
  - 時間を調整する。
- ⑭ 🔊 PAIRING
  - 押して、BT (Bluetooth) 音源を選択する。
- ⑮ Living Sound
  - Living Sound 効果のオン／オフを切り替える。
- ⑯ VOL +/-
  - 音量を調節する。
- ⑰ 数字キーパッド
  - トラックを選択する。
  - プリセットされたラジオ局を選択する。
- ⑱ REPEAT/SHUFFLE
  - 繰り返し／シャッフル再生モードを選択する。
- ⑲ RDS/DISPLAY
  - RDS ラジオ局の場合は押すと、ラジオデータシステム (RDS) 情報が表示される。
  - MP3 再生中の場合は押すと、ID3 情報が表示される (表示可能な情報がある場合)。

# 3 はじめに

## 注意

- ここでの説明と異なる制御手順、調整手順、または実行手順を行った場合は、有害なレーザーにさらされるか、その他の危険な操作を引き起こす可能性があります。

この章の指示には、必ず順番どおりに従ってください。

フィリップスにお問い合わせの際は、お使いの機器のモデル番号とシリアル番号が必要になります。モデル番号およびシリアル番号は、機器の裏に記載されています。これらの番号を以下に控えておいてください。

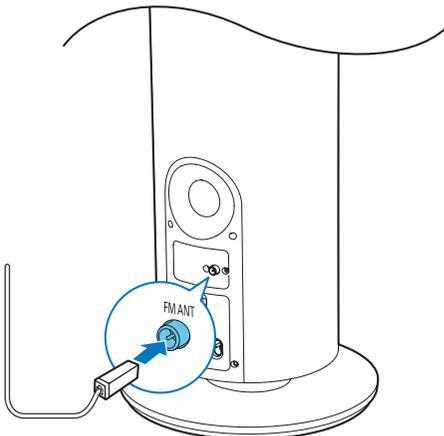
モデル番号 \_\_\_\_\_

シリアル番号 \_\_\_\_\_

## FM アンテナの接続

### ヒント

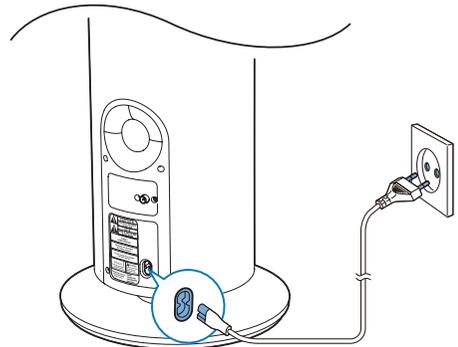
- 最適な受信状態になるように、アンテナを完全に伸ばし、位置を調整します。
  - FM ステレオの受信状態を改善するには、屋外用の FM アンテナを FM アンテナソケットに接続します。
- 付属の FM アンテナを、機器の背面にある FM アンテナソケットに接続します。



## 電源の接続

### 注意

- 製品に損傷を与えるおそれがあります。電源電圧と、本体裏に表示されている電圧とが一致していることを確認してください。
- 感電の危険性があります。AC 電源アダプターを差し込む前に、アダプターのプラグ変換器がしっかりと固定されていることを確認してください。AC 電源アダプターを取り外すときには、コードではなく、必ずプラグをつかんで引き抜いてください。
- AC 電源アダプターを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。



## リモコンの準備

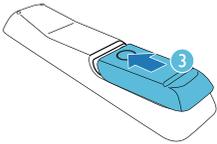
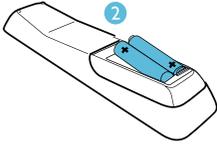
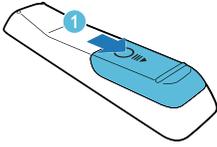
### 注意

- 製品に損傷を与えるおそれがあります。リモコンを長期間にわたって使用しない場合は、電池を取り外してください。

### リモコンに電池を入れる:

- 1 電池入れのカバーを開きます。
- 2 極性 (+/-) を間違えないよう、図に従って単四電池 2 本を入れます。

### 3 電池入れのカバーを閉じます。



#### 注

- リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 古い電池と新しい電池または種類の違う電池を組み合わせて使用しないでください。
- 電池には化学物質が含まれているため、適切な方法で廃棄してください。

## 時計の設定

- 1 スタンバイモードで、リモコンの **PROG/CLOCK SET** を 3 秒間押し続けます。  
↳ 12 時間形式または 24 時間形式が表示されます。
- 2 ◀▶ を押して 12 時間形式または 24 時間形式を選択します。
- 3 **PROG/CLOCK SET** を押して確定します。  
↳ 時間を示す数字が表示され、点滅します。

- 4 ◀▶ を押して時間を選択し、**PROG/CLOCK SET** を押して確定します。  
↳ 分を示す数字が表示され、点滅します。
- 5 ◀▶ を押して分を選択し、**PROG/CLOCK SET** を押して確定します。

#### ※ ヒント

- エコモードの場合または機器の電源がオンになっている場合は、**PROG/CLOCK SET** を押すと設定された時計が表示されます。

## 電源をオンにする

- ⏻ を押します。  
↳ 機器は、前回使用時に選択されていた音源に切り替わります。  
↳ 機器が起動するまで信号強度インジケータが何秒間か点滅します。

## スタンバイモードへの切り替え

- もう一度 ⏻ を押すと、機器がスタンバイモードに切り替わります。  
↳ パネルに時間(設定している場合)が表示されます。

### エコモードに切り替えるには:

- ⏻ を 3 秒以上押し続けます。  
↳ 表示パネルが暗くなります。

#### 注

- シングルモードでは、何も操作されないまま 15 分経過すると、機器は自動的にエコモードに切り替わります。
- グループモードでは、機器は自動的にエコモードに切り替わりません。

### スタンバイモードとエコモードを切り替えるには:

- ⏻ を 3 秒以上押し続けます。

# 4 再生

## シングルモードでの再生

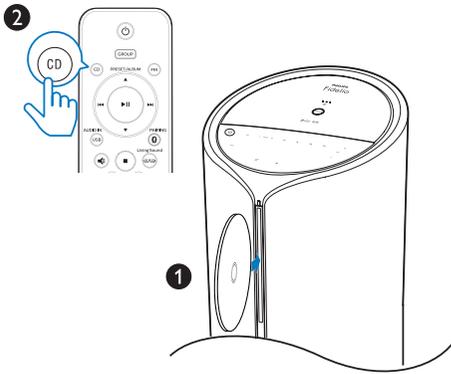
シングルモード:シングルモードとは、スピーカーが他の izzylink 対応マルチルームスピーカーとグループ化されていない状態を指し、そのスピーカーはスタンドアロンとして使用されます。

## ディスクからの再生

### 注

- ディスクに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します。

- 1 印刷面を右にしてディスクをディスクコンパートメントに挿入します。
- 2 CD を押して、CD 音源を選択します。  
↳ 再生が自動的に開始されます。開始されない場合は ▶|| を押します。
  - ディスクトレイからディスクを取り出すには、EJECT ▲を押します。

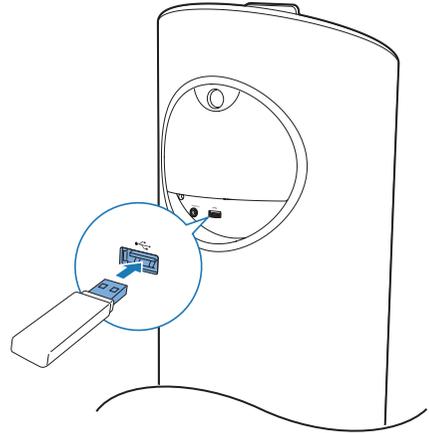


## USB からの再生

### 注

- USB デバイスに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認してください(「製品情報」(19 ページ)を参照)。

- 1 USB デバイスを ⇄ ソケットに挿入します。
- 2 AUDIO IN/USB を繰り返し押して、USB 音源を選択します。  
↳ 再生が自動的に開始されます。開始されない場合は ▶|| を押します。



## 再生オプション

### 再生の一時停止／再開

再生中に ▶|| を押すと、再生が一時停止／再開します。

---

## 再生の停止

再生中に ■ を押すと、再生が停止します。

---

## 別のトラックへのスキップ

CD の場合：

◀◀/▶▶ を押して、別のトラックを選択します。

MP3 ディスクおよび USB の場合：

- 1 ALBUM/PRESET ▲/▼ を押して、アルバムまたはフォルダを選択します。
- 2 ◀◀/▶▶ を押して、トラックまたはファイルを選択します。

---

## トラック内の検索

- 1 再生中に ◀◀/▶▶ を押したままにして、トラック内を検索します。
- 2 指を離すと、通常再生を再開します。

---

## 繰り返し／シャッフル再生

- 1 再生中に REPEAT/SHUFFLE を繰り返し押し、次のいずれかを選択します。
  - ♻️ (1 曲繰り返し)：現在のトラックを繰り返し再生します。
  - ♻️ ALL (すべて繰り返し)：すべてのトラックを繰り返し再生します。
  - 🔄 (シャッフル)：すべてのトラックをランダムな順で再生します。
- 2 通常再生に戻すには、繰り返し／シャッフルモードが表示されなくなるまで REPEAT/SHUFFLE を繰り返し押します。

### 注

- 繰り返し／シャッフル再生を同時に有効にすることはできません。
- プログラムされたトラックの再生時に、シャッフル再生を選択することはできません。

---

## トラックのプログラム

最大 20 のトラックをプログラムできます。

- 1 再生を停止してから **PROG/CLOCK SET** を押して、プログラミングモードを有効にします。
- 2 MP3 トラックの場合は、**ALBUM/PRESET ▲/▼** を押してアルバムを選択します。
- 3 ◀◀/▶▶ を押してトラックを選択してから、**PROG/CLOCK SET** を押して確定します。
- 4 手順 2～3 を繰り返して、他のトラックをプログラムします。
- 5 ▶▶ を押して、プログラムしたトラックを再生します。
  - プログラムを消去するには、再生を停止してから ■ を押します。

---

## ID3 情報の表示

CD/USB モードでの再生中に、**RDS/DISPLAY** を押すと以下の情報が表示されます (表示可能な情報がある場合)。

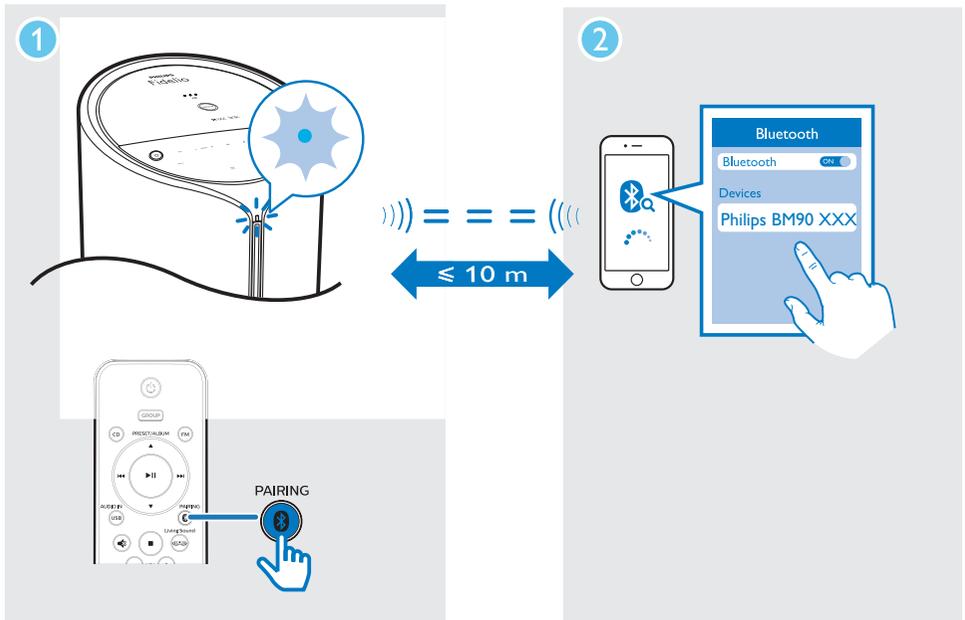
- トラック番号
- 再生時間
- タイトル
- アーティスト名
- アルバム名

## Bluetooth 対応デバイスからの再生

### 注

- デバイスとこの機器をペアリングする前に、デバイスのユーザーマニュアルで、Bluetooth の互換性について確認してください。
- 一部の Bluetooth デバイスとの互換性は保証されていません。
- この機器とデバイスとの間に障害物があると、動作範囲が狭くなることがあります。
- この機器と Bluetooth 対応デバイスの有効動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。
- この機器は、同時に 2 台までの Bluetooth デバイスに接続できます。

スピーカーを使用して無線で音楽を再生するには、Bluetooth 対応デバイスと機器をペアリングする必要があります。



- 1** **BT/PAIRING** を押して、**Bluetooth** 音源を選択します。
  - ↳ **[BT]** (Bluetooth) が表示されます。
  - ↳ LED インジケータが青で点滅します。

- 2 高度オーディオ配信プロファイル (A2DP) をサポートするデバイスで、Bluetooth を有効にして、ペアリング可能な Bluetooth デバイスを検索します (デバイスのユーザーマニュアルを参照してください)。
- 3 Bluetooth 対応デバイスで「**Philips BM90 xxx**」を選択し、必要に応じてペアリングパスワード「0000」を入力します。  
↳ ペアリングと接続が完了すると、Bluetooth インジケータが青で点灯し、ビープ音が鳴ります。
- 4 接続したデバイスで音楽を再生します。  
↳ 音楽は、Bluetooth 対応デバイスから機器にストリーミングされます。
  - 「**Philips BM90 xxx**」が見つからないか、機器とペアリングできない場合は、ビープ音が 1 回鳴ってペアリングモードに切り替わるまで **PAIRING** を 3 秒間押し続けます。

#### 現在の Bluetooth 対応デバイスを切断するには:

- 使用するデバイスの Bluetooth を無効にします。

#### 新しい Bluetooth 対応機器に接続するには:

- 1 台のデバイスのみ接続している場合は、**PAIRING** を 3 秒間押し続けると、ペアリングモードに切り替わります。
- 2 台のデバイスを接続している場合は、**PAIRING** を 3 秒間押し続けると、何も再生していないデバイスが切断され、ペアリングモードに切り替わります。

## ラジオを聴く

### ヒント

- アンテナは、テレビまたはその他の放射源からできる限り離してください。
- 付属の FM アンテナを接続していることを確認します。
- 最適な受信状態になるように、アンテナを完全に伸ばし、位置を調整します。

## ラジオ局へのチューニング

- 1 **FM** を押して、チューナー音源を選択します。
- 2 **◀◀/▶▶** を 3 秒間押し続けます。  
↳ ラジオは、受信電波が強い局に自動的にチューニングされます。
- 3 他の局にチューニングするには、手順 2 を繰り返します。

### 電波が弱い局に適切にチューニングするには:

- 最適な受信状態になるまで **◀◀/▶▶** を繰り返し押します。

## FM ラジオ局の自動記憶

### 注

- 最大 30 のプリセットされた FM ラジオ局を保存できます。

- 1 チューナーモードで **PROG/CLOCK SET** を 2 秒間押して、自動プログラミングを有効にします。  
↳ **[AUTO SRCH]** (自動検索) が表示されます。  
↳ 利用できるすべてのラジオ局が、周波数帯の受信強度の順にプログラムされます。  
↳ 最初にプログラムされたラジオ局が自動的に放送されます。
- 2 **ALBUM/PRESET ▲/▼** を押して、プリセット局を選択します。

## FM ラジオ局の手動記憶

- 1 FM ラジオ局に合わせます。
- 2 **PROG/CLOCK SET** を押して、プログラミングモードを有効にします。  
↳ **[PROG]** (プログラム) が点滅します。
- 3 **ALBUM/PRESET ▲/▼** を繰り返し押し、ラジオ周波数を選択します。
- 4 **PROG/CLOCK SET** をもう一度押して確定します。

↳ プリセットされたラジオ局の周波数が表示されます。

- 5 上記の手順を繰り返して、他の FM ラジオ局を保存します。

### 注

- あらかじめ保存されているラジオ局を削除するには、別のラジオ局をその局に上書きします。

### プリセットラジオ局の選択

- FM モードで **ALBUM/PRESET ▲/▼** を押して、プリセットラジオ局を選択します。

### RDS 情報の表示

RDS (ラジオデータシステム) は、FM ラジオの放送局が追加の情報を表示することのできるサービスです。

- 1 RDS の放送局に合わせます。
- 2 **DISPLAY/RDS** を繰り返し押し押すと、次の情報をスクロールできます (表示可能な情報がある場合)。
  - ↳ プログラムサービス
  - ↳ **[NEWS]** (ニュース)、**[SPORT]** (スポーツ)、**[POP M]** (ポップ) など、プログラムの種類
  - ↳ ラジオテキストメッセージ

### ステレオ/モノラル放送の選択

### 注

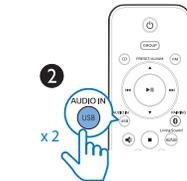
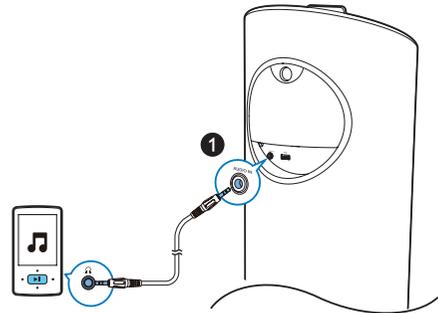
- ステレオ放送は、チューナーモードのデフォルト設定です。
- 信号強度の低いラジオ局の場合は、モノラルサウンドに切り替えると受信状態を改善することができます。

- FM チューナーモードで、**▶||** を押してモノラル放送とステレオ放送を切り替えます。
  - ↳ ステレオ放送時は **[STEREO]** (ステレオ) と表示されます。

## 外部デバイスからの再生

付属の 3.5mm オーディオケーブルを機器に接続して、外部デバイスの音楽を再生できます。

- 1 3.5mm オーディオケーブルで次の 2 つを接続します。
  - 機器の **AUDIO IN** ソケット (3.5 mm)
  - および外部デバイスのヘッドフォン/LINE OUT ソケット
- 2 **AUDIO IN/USB** を繰り返し押し押して、**AUDIO IN** 音源を選択します。
- 3 接続したデバイスで音楽を再生します (デバイスのユーザーマニュアルを参照してください)。



## グループモードでの再生

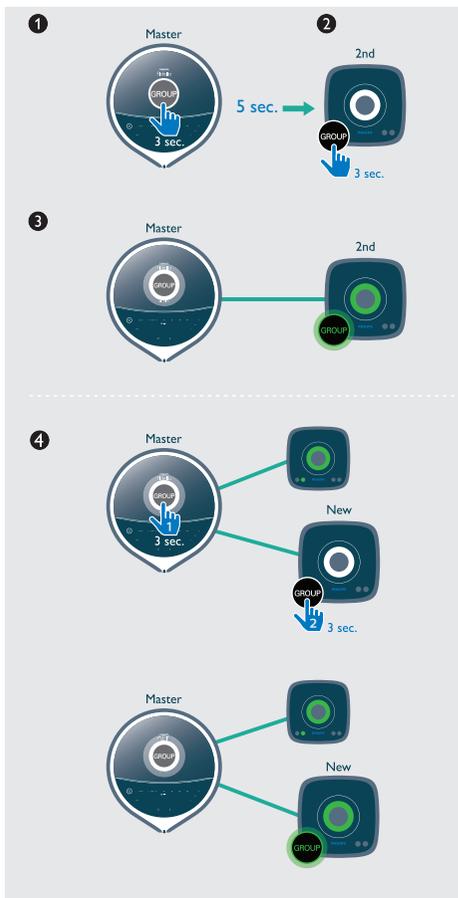
グループモード: izzylink 対応のマルチルームスピーカーが複数ある場合には、グループを作成し、音楽を作成したスピーカーのグループに同時にストリーミングできます。

この機能を使うには、izzylink 対応のマルチルームスピーカーを複数購入する必要があります。

## 注

- スピーカーのグループには、最大 5 台までスピーカーを追加でき、その場合は 1 台がマスター、4 台がスレーブになります。
- 下に示す図では、BM5 (各図の右側を参照) を BM90 とグループ化する例を示しています。

## グループの作成



## 注

- グループを作成すると、グループ機能を有効にした最初のスピーカーが常にマスターとして動作します。

- 1 最初のスピーカーの GROUP を 3 秒間押し続けます (マスター)。
- 2 2 番目のスピーカーの GROUP を 3 秒間押し続けます (スレーブ)。
- 3 接続が設定されるまで、15~30 秒間待ちます。
- 4 スレーブスピーカーをさらに追加するには、1 台ごとに手順 1~3 を繰り返します。

## 注

- スレーブスピーカーは 1 台単位で追加します。まとめて追加することはできません。追加するときには、まずマスタースピーカーの GROUP を押して、ボタンのインジケータが点滅してスピーカーのピープ音が鳴るまで押し続けます。
- スレーブスピーカーの信号強度インジケータが、信号が弱いことを示した場合は、そのスピーカーをマスタースピーカーに近づけます。

次のスピーカーはすべて既存のグループに追加できるほか、これらのスピーカーを使って新しいグループを作成することもできます。

- 工場出荷時の設定のスピーカー
- スレーブスピーカーが接続されていないマスタースピーカー
- マスタースピーカーから切断されているスレーブスピーカー (GROUP インジケータが点滅しているもの)

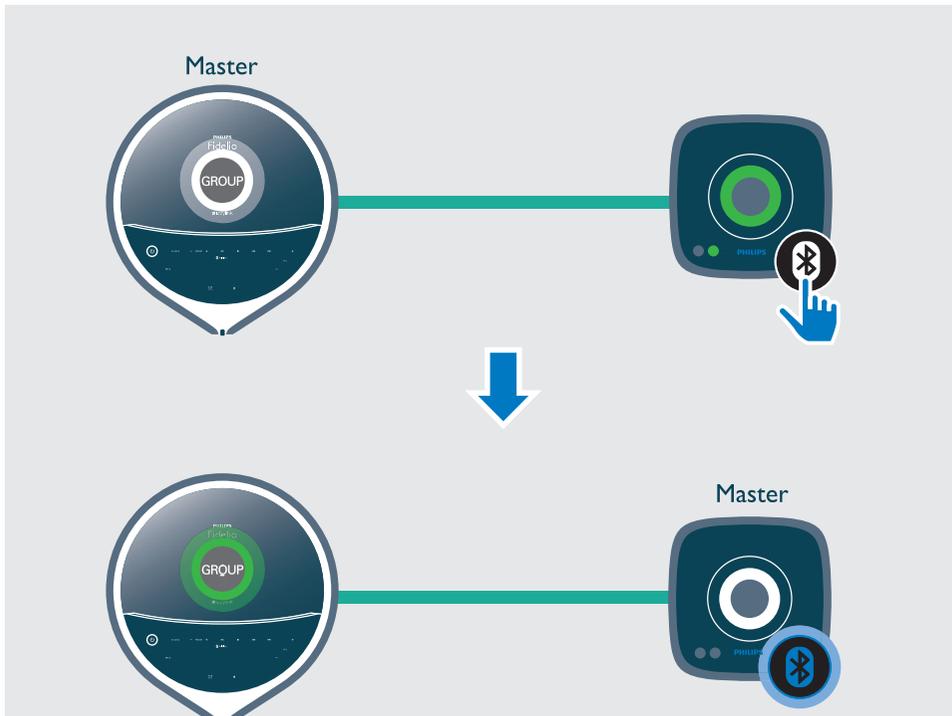
## マスタースピーカーからグループ全体への再生

## 注

- Bluetooth モードでは、接続された携帯電話で電話を受信した場合や、ビデオを録画している間は、音楽の再生が一時停止します。
- このスピーカー (BM90) がマスターとして動作する場合は、音源を選択してグループのすべてのスピーカーに音楽を流します。

## マスタースピーカーの変更

グループのマスタースピーカーは簡単に変更できます。たとえば、Bluetooth モードの場合は、携帯電話と現在のマスタースピーカーとの接続が失われたときに、最も近くにあるスレーブスピーカーをマスターに設定することができます。

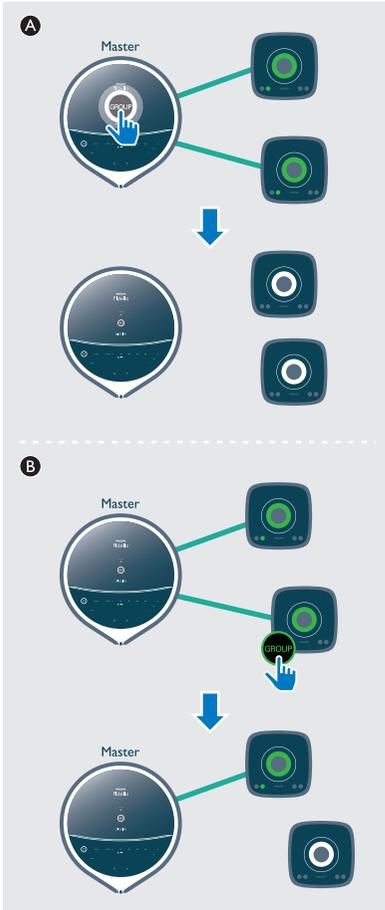


- スレーブスピーカーで任意の音源キーを押して、グループのマスタースピーカーに変更します。

### 注

- モバイル機器と新しいマスタースピーカーのペアリングがまだ行われていない場合は、ペアリングを行います。

## シングルモードへの切り替え



- グループモードを再開するには、マスタースピーカーの GROUP をもう一度押します。
- ② シングルモードに切り替えるには、スレーブスピーカーの GROUP を押します。グループに戻るには、GROUP をもう一度押します。

## グループの状態のリセット

- グループの作成で問題が発生した場合には、GROUP を 8 秒間押し続けてリセットします。

- ① シングルモードに切り替えるには、マスタースピーカーの GROUP を押します。
  - ↳ スレーブスピーカーは 15 分後にタイムアウトするまでマスタースピーカーを探し続けます。
  - ↳ スレーブスピーカーを使って新しいグループを作成することも、スレーブスピーカーの GROUP を押してシングルモードに切り替えることもできます。

## 5 サウンドの調整

以下の操作は、サポートされているすべてのメディアが対象です。

### 音量の調節

再生中に **VOL +/-** を押すと、音量を調節できます。

### サブウーファースの音量の調節

再生中に機器の **SUB VOL** をタップすると、サブウーファースの音量を調節できます。

### プリセットされたサウンド効果の選択

再生中に **DSC/DBB** を繰り返し押し、次のいずれかを選択します。

- [BALANCED] (バランス)
- [POWERFUL] (パワフル)
- [CLEAR] (クリア)
- [BRIGHT] (ブライト)
- [WARM] (ウォーム)

### バス拡張

再生中に **DSC/DBB** を押し続けると、ダイナミックバス拡張のオン/オフが切り替わります。

- ↳ **DBB** が有効になると、**DBB** 機能を利用できます。

### より広いスポットでの音楽の再生

再生中に **Living Sound** を押すと、Living Sound 効果のオン/オフが切り替わります。

- ↳ **Living Sound** が有効になると、 が表示されます。

### 音声のミュート

- 音声をミュートしたりミュートから復旧したりするには、 を押します。

## 6 その他の機能

### アラームタイマーの設定

本機器は、アラーム時計として使用することができます。アラームの音源として **DISC** (ディスク)、**USB**、または **TUNER** (チューナー) を選択できます。

#### 注

- 時計が正しく設定されていることを確認してください。

- 1 スタンバイモードで、**SLEEP/TIMER** を 3 秒間押し続けます。
- 2 **◀▶** を繰り返し押し、音源を選択します (**DISC** (ディスク)、**USB**、または **TUNER** (チューナー))。
- 3 **SLEEP/TIMER** を押して確定します。  
↳ 時間を示す数字が点滅し始めます。
- 4 手順 2~3 を繰り返し、時間と分を設定し、アラームの音量を調整します。

#### 注

- 90 秒間いずれのボタンも押さないと、タイマー設定モードが自動的に終了します。

アラームタイマーを有効／無効にするには：

- **SLEEP/TIMER** を繰り返し押し、アラーム情報を表示し、アラームを有効または無効にします。  
↳ タイマーが有効になると、**[TIMER]** (タイマー) が表示されます。  
↳ タイマーが無効になると、**[TIMER OFF]** (タイマーオフ) が表示され、**[TIMER]** (タイマー) が消えます。

#### ※ ヒント

- DISC や USB が検出されない場合には、システムは FM をアラーム用の既定の音源として使用します。

### スリープタイマーの設定

- **SLEEP/TIMER** を押して、機器の電源を自動的にオフにするまでの分数を設定します。
  - **[SLP 120]** (スリープ 120 分)
  - **[SLP 90]** (スリープ 90 分)
  - **[SLP 60]** (スリープ 60 分)
  - **[SLP 45]** (スリープ 45 分)
  - **[SLP 30]** (スリープ 30 分)
  - **[SLP 15]** (スリープ 15 分)
  - **[SLP OFF]** (スリープオフ)

#### ※ ヒント

- スリープタイマーを設定するには、機器の電源がオンになっている必要があります。

### ファームウェアの更新

#### ⚠ 警告

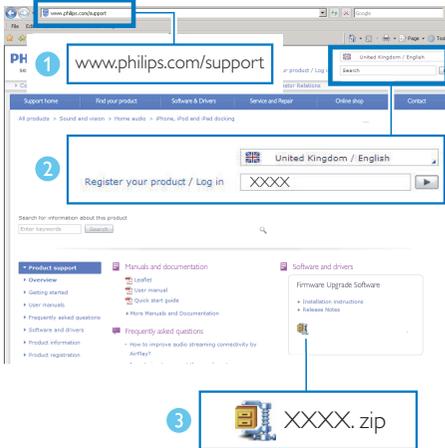
- ファームウェアをアップグレードするときは、必ずスピーカーを AC 電源に接続してください。
- ファームウェアのアップグレードが終了するまでは、スピーカーの電源をオフにしたり、USB の大容量のストレージデバイスを取り外したりしないでください。

#### ≡ 注

- USB スティックの形式は FAT16/32 である必要があります。

- 1 PC または Mac で [www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) を表示します。

- 2 モデル番号を入力して、ファームウェアの最新のアップグレードファイルを検索します。



- 3 アップグレードファイルを解凍してUSBスティックのルートディレクトリに保存します。
- 4 **USB** を押して **USB** 音源を選択し、USBスティックをスピーカーの背面にあるUSBソケットに差し込みます。
- 5 USBスティックを差し込んだまま、ファームウェアのアップグレードが完了するまで3~4分間待ちます。  
↳ ファームウェアのアップグレード中は、「UPGRADE」の文字が表示パネルに表示されます。  
↳ ファームウェアのアップグレードが完了すると、「SUCCESS」の文字が表示パネルに表示されます。
- 6 スピーカーからAC電源を切り離し、USBスティックを取り外します。
- 7 再びAC電源に接続してスピーカーをオンにします。

## 🌸 ヒント

- アップグレードが完了したら、USBスティックからアップグレードファイルを削除するのを忘れないようにしてください。

# 7 製品情報

## 注

- 製品情報は予告なく変更されることがあります。

定格出力(アンプ):	200 W
音響周波数応答	100~16KHz +/-3dB
スピーカードライバー	5.25 インチ ウーフ アー + 3 x 2.75 イン チ フルレンジ、6Ω
バス拡張	1 x パスポート
対応ディスクタイプ	CD-DA、CD- R、CDRW、MP3- CD (12 cm)
Bluetooth のバージョン	V2.1 + EDR
Bluetooth 対応プロファイル	A2DP V1.2 、AVRCP V1.4
Bluetooth 周波数帯/出力	2.400GHz~2.483GHz ISM Band/≤ 4dBm (Class 2)
Wi-Fi:周波数帯/出力	2.412GHz~2.462GHz ISM Band (CH 1 ~11)/< 20dBm
USB(再生)	Type A、USB Direct 2.0 、5V / 500mA、MP3 フォーマット。FAT12 、FAT16、FAT32(セクタ ーサイズ:512 バイト)
チューナー周波数範囲	FM 87.5~108MHz
プリセット局	20
補助入力レベル	1000+/-100mV RMS
電源	AC 入力:220 ~240V 50/ 60 Hz
操作時消費電力	< 80W
ネットワークスタンバイ時消費電力	< 3W

エコスタンバイ時消費電力	< 0.5W
製品寸法(W x H x D)	本体 300 x 994 x 300 mm
製品重量	本体 11.03 kg

## USB 対応情報

- サポートされているファイルフォーマット:MP3 (\*.mp3)
- サポートされている MP3 ビットレート:32~320kbps CBR および VBR。
- サポートされている USB ファイルシステム:FAT12、FAT16、FAT32 (セクターサイズ:512 バイト)

## サポートされている MP3 ディスク形式

- ISO9660、Joliet
- 最大タイトル数:128(ファイル名の長さによって異なります)
- 最大アルバム数:99
- サポートされているサンプリング周波数:32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- サポートされているビットレート: 32 ~256 (kbps)、可変ビットレート

## RDS プログラムの種類

NO TYPE	RDS プログラムなし
NEWS	ニュースサービス
AFFAIRS	政治および時事問題
INFO	特別情報番組
SPORT	スポーツ
EDUCATE	教育および高等訓練
DRAMA	ラジオドラマおよび文学
CULTURE	文化、宗教および社会
SCIENCE	科学

VARIED	エンターテインメント番組
POP M	ポップ音楽
ROCK M	ロック音楽
MOR M	軽音楽
LIGHT M	ライトクラシック音楽
CLASSICS	クラシック音楽
OTHER M	特別音楽番組
WEATHER	天気
FINANCE	金融経済
CHILDREN	子供向け番組
SOCIAL	社会問題
RELIGION	宗教
PHONE IN	電話参加番組
TRAVEL	旅行
LEISURE	レジャー
JAZZ	ジャズ音楽
COUNTRY	カントリー音楽
NATION M	民族音楽
OLDIES	オールディーズ音楽
FOLK M	フォーク音楽
DOCUMENT	ドキュメンタリー
TES	アラームテスト
ALARM	アラーム

# 8 トラブルシューティング

## 警告

- 本機器のケースは絶対に取り外さないでください。

機器は自分で修理しようとししないでください。保証が無効になります。

本機器の使用中に問題が発生した場合は、修理を依頼する前に以下の点を確認してください。それでも問題が解決されない場合は、フィリップスウェブサイト ([www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)) を参照してください。フィリップスにお問い合わせの際は、お使いの機器と、モデル番号およびシリアル番号をお手元にご用意ください。

### 電源が供給されない

- AC 電源アダプタのコードが正しく接続されていることを確認します。
- コンセントに電力が供給されていることを確認します。
- トラックの再生終了後、何も操作しないまま 15 分経過すると、節電のために、自動的にスタンバイモードに切り替わります。

### 音がしない／音質が悪い

- 音量を調整する

### ドッキングスピーカが応答しない

- AC 電源プラグを一度抜いて再度接続してから、機器の電源をもう一度オンにしてください。

### 機器の一部のボタンが機能しない、または機器が正常に動作しません。

- 誤ってデモモードをアクティブにしてしまった可能性があります。この場合は、機器の電源がオンの状態で、「T-OFF」

が表示されるまで **■** を 15 秒間押し続けます。問題が解決しない場合は、電源ケーブルを取り外し、**○** を押したままもう一度接続し直します。すべてのインジケータが点滅してデモモードを終了するまで、ボタンを 15 秒間押し続けます。その後電源をオンにすれば、機器を通常通りに操作できます。

### リモコンが機能しない

- 機能ボタンを押す前に、本体ではなくリモコンを使用して、適切な音源を選択します。
- リモコンと本体を近づけます。
- 電池の向きをリモコンの表示 (土記号) に合わせて電池を入れます。
- 新しい電池に交換します。
- リモコンを、本体前面にある受光部にまっすぐ向けます。

### ディスクが検出されない

- ディスクを挿入します。
- ディスクが印刷面を右にして挿入されていることを確認します。
- レンズの結露が消えるまで待ちます。
- ディスクを交換するか、クリーニングします。
- ファイナライズされている CD を使用するか、ディスクをフォーマットします。

### USB デバイスの一部のファイルが表示されない

- USB デバイス内で、フォルダ数またはファイル数が制限数を超えていないことを確認します。この現象は誤動作ではありません。
- 形式がサポートされていないファイルです。

### USB デバイスがサポートされていない

- お使いの USB デバイスは本体に対応していません。別のデバイスを使用してください。

## ラジオの受信状態が悪い

- 本体とテレビまたはその他の放射源との距離を離します。
- 付属のアンテナを接続し、完全に伸ばします。

## Bluetooth 接続が成功したのに曲が再生されない。

- ご使用のデバイスが、本機器で無線を使用した音楽の再生に対応していません。

## Bluetooth 対応デバイスに接続するとオーディオ品質が低下する。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。デバイスを本体の近くに移動するか、間にある障害物を取り除きます。

## Bluetooth をこの機器と接続できない

- 接続しようとしているデバイスが、本機器に必要なプロファイルに対応していません。
- デバイスの Bluetooth 機能がオンになっていません。Bluetooth 機能をオンにする方法については、Bluetooth 対応デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。
- 本機器がペアリングモードになっていません。
- 本機器は既に別の Bluetooth 対応デバイスに接続されています。デバイスを切断してから、もう一度試してください。

## ペアリングしたモバイルデバイスの接続と切断が繰り返される。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。デバイスを本体の近くに移動するか、間にある障害物を取り除きます。
- 携帯電話機によっては、通話の開始または終了時に接続と切断が繰り返されることがあります。これは本機器の不具合ではありません。
- デバイスによっては、省電力機能で自動的に Bluetooth 接続がオフになることがあります。これは本機器の不具合ではありません。

## タイマーが機能しない

- 時計を正しく設定します。
- タイマーをオンにします。

## 時計／タイマーの設定が消えた

- 停電があったか、電源コードが取り外されました。時計／タイマーをリセットします。

## グループの接続が切断された

- スレーブスピーカーをマスタースピーカーの近くに移動します。
- スレーブスピーカーは 1 台単位で追加します。まとめて追加することはできません。
- マスタースピーカーとグループを作成できるのは、4 台までです。
- マスタースピーカーがシングルモードに切り替えられた可能性があります。

## グループの再生中に、ストリーミングされている音楽が途切れたり、停止したりすることがある

- ストリーミングされている音楽が途切れたり、停止したりする場合は、家庭内の Wi-Fi ネットワークが混雑している可能性があります。Izzylink が家庭内の Wi-Fi ネットワークから独立していても、スピーカー間の通信には Wi-Fi 信号を使用します。次の方法を試してください: 1) 大容量のファイルのダウンロードやほかのコンテンツのストリーミングを中止するなど、家庭内の Wi-Fi ネットワークのトラフィックを減らします。2) 電源からマスタースピーカーを取り外し、もう一度差し込んで、マスタースピーカーを再起動します。

## 9 通知

Gibson Innovations によって明示的に承認された場合を除き、この機器に変更または改変を加えた場合は、この機器を操作するための権限が無効になる可能性があります。

# CE0890

### 適合宣言

Gibson Innovations は、この製品が指令 1999/5/EC の必須要件およびその他の関連条項に適合していることをここに宣言します。適合宣言書は、[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) でご覧いただけます。

### 古い製品および電池の廃棄



ご使用の製品は、純度の高い素材と材質を使用してデザインおよび製造されたもので、リサイクルと再利用が可能です。



このマークが付いた製品は、欧州連合における指令 2012/19/EU の適用を受けていることを表します。



このマークは、この製品に欧州指針 2013/56/EU が適用される電池が含まれており、一般の家庭ごみと一緒に捨てることができないことを示しています。

お住まいの地域の電気電子製品および電池の分別回収システムについて情報を入手してください。電池を廃棄する際は地域の規則に従ってください。一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。使

用済み電池の適切な廃棄は、環境と健康に及ぼす影響の低減につながります。

### 使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池の取り外しについては、電池の取り付けのセクションを参照してください。

### 環境に関する情報

本製品の梱包には不必要な梱包材を使用していません。当社では、梱包材をダンボール(箱)、発泡スチロール(緩衝材)、ポリエチレン(袋、保護発泡シート)の3種類の素材ごとに簡単に分類できるように、努力を払っています。

システムは、リサイクル可能な素材で製造されているため、専門業者による分解の後に再利用できるようになっています。梱包材、使用済み電池、古くなった機器の廃棄方法については、お住まいの地域の廃棄手順に従ってください。



Be responsible  
Respect copyrights

この機器には、米国特許および Rovi Corporation の他の知的所有権によって保護されている著作権保護テクノロジーが組み込まれています。リバースエンジニアリングおよび逆アセンブリは禁止されています。

### Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、Gibson Innovations Limited はライセンスに基づきこのマークを使用しています。その他の商標および商品名はそれぞれの所有者の所有になります。

この機器には次のラベルが添付されています。



- タイププレートは機器の背面にあります。

---

## 書面によるオファー

Gibson Innovations Limited は、請求に応じて、この製品で使用されているオープンソースソフトウェアパッケージに対応するソースコードのコピーを提供します。このようなオファーは各ライセンスによって要求されるものです。このオファーの有効期限は製品購入後 3 年となります。ソースコードを入手するには [open.source-gi@gibson.com](mailto:open.source-gi@gibson.com) までお問い合わせください。お問い合わせの際にメールを使用したくない場合、またはお問い合わせメールをこのアドレスに送信してから 1 週間以内に受領確認が届かない場合は、Gibson Innovations Limited の Open Source Team まで書面でお問い合わせください。住所: 5/F, Philips Electronics Building, 5 Science Park East Avenue, Hong Kong Science Park, Shatin, N.T., Hong Kong



2016 © Gibson Innovations Limited. All rights reserved.  
This product has been manufactured by, and is sold  
under the responsibility of Gibson Innovations Ltd., and  
Gibson Innovations Ltd. is the warrantor in relation to  
this product. Philips and the Philips Shield Emblem are  
registered trademarks of Koninklijke Philips N.V. and are  
used under license.

BM90\_12\_UM\_V1.0

